

有限会社 虹の通潤館 令和3年度(26期)事業報告

1. 総括

令和3年度は令和2年から続く新型コロナウイルス感染拡大の影響で宿泊・飲食業経営にとって深刻な状況が続いた一年であった。しかし、前年比利用人数で11,183人の増、売り上げにおいても31,002千円の売上増となった。

その要因は、コロナ禍の中Gotoトラベルのような全国的な観光業助成制度は無かったものの、県の「くまもと再発見の旅」山都町の「山の都へ泊まろうキャンペーン」といった行政の宿泊助成事業が行われ、感染拡大期を除く期間の売上増の要因のひとつとなった。

しかしながら、まん延防止等重点措置が適用された期間が150日以上あり、熊本地震前の平成27年度決算と比較すると利用人数、売上とも半分程度に留まったところである。感染防止対策を行いながら、更なる営業努力を行い集客に努めていく。

また、宿泊売上における助成金比率が高く、売上の現金化が翌月以降となり資金繰りも厳しい状況状況である。

表1) 部門別実績比較(ゴルフ預り金含む)

人数:人 金額:千円

	令和3年		令和2年		比較		比率(%)	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
合計	66,066	114,202	54,883	83,200	11,183	31,002	120.4	137.3
宿泊	8,774	63,657	5,499	43,006	3,275	20,651	159.6	148.0
宴会	2,324	13,476	1,859	7,344	465	6,132	125.0	183.5
レストラン	8,096	9,693	9,118	12,160	▲ 1,022	▲ 2,467	88.8	79.7
売店	6,524	5,371	5,286	5,225	1,238	146	123.4	102.8
大休憩室	0	0	2	0	▲ 2	0	0.0	0.0
温泉館	40,343	21,588	33,094	14,030	7,249	7,558	121.9	153.9
イベント他	5	417	25	1,435	▲ 20	▲ 1,018	20	29.1

表2) 月別実績比較

人数:人 金額:千円

	令和3年		令和2年		比較		比率(%)	
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
合計	66,066	114,202	54,883	83,200	11,183	31,002	120.4	137.3
4月	5,287	7,978	2,525	3,053	2,762	4,925	209.4	261.3
5月	4,988	7,894	886	241	4,102	7,653	563.0	3275.5
6月	3,950	4,439	1,961	538	1,989	3,901	201.4	825.1
7月	4,619	7,303	5,110	9,347	▲ 491	▲ 2,044	90.4	78.1
8月	4,780	6,324	5,631	8,333	▲ 851	▲ 2,009	84.9	75.9
9月	4,581	5,467	4,690	7,294	▲ 109	▲ 1,827	97.7	75.0
上期	28,205	39,405	20,803	28,806	7,402	10,599	135.6	136.8
10月	5,584	9,786	5,602	10,749	▲ 18	▲ 963	99.7	91.0
11月	7,856	19,733	6,441	14,747	1,415	4,986	122.0	133.8
12月	8,535	21,987	5,259	9,366	3,276	12,621	162.3	234.8
1月	6,627	9,341	5,709	5,681	918	3,660	116.1	164.4
2月	4,091	4,309	5,291	5,808	▲ 1,200	▲ 1,499	77.3	74.2
3月	5,168	9,641	5,778	8,043	▲ 610	1,598	89.4	119.9
下期	37,861	74,797	34,080	54,394	3,781	20,403	111.1	137.5

2. 部門別分析

(1) 宿泊部門

① 月別状況

- 本年度も、まん延防止措置の適用による影響を顕著に受けた年であった。
- 全般的には、対前年度、人数で159%、売上は148%と上回ることができたが対前々年度と比較すれば、人数78%、売上73%であった
- 下期は、県・町による「宿泊助成制度」により、宿泊数が伸びた
助成が行われなかった10月・2月を除いては対前々年も上回ることが出来た

表3) 宿泊部門月別実績比較

	令和3年度			令和2年度			人数:人 金額:千円 比較(人数・金額)	
	室数	人数	金額	室数	人数	金額	人数	金額
合計	5,288	8,784	63,657	4,137	5,499	43,006	3,285	20,651
4月	526	644	3,996	278	299	2,140	345	1,856
5月	369	463	3,291	0	0	0	463	3,291
6月	238	294	1,884	0	0	25	294	1,859
7月	473	641	4,060	354	518	3,531	123	529
8月	394	584	3,700	318	523	4,240	61	▲ 540
9月	254	311	2,014	344	514	4,145	▲ 203	▲ 2,131
上期	2,254	2,937	18,945	1,294	1,854	14,081	1,083	4,864
10月	465	645	4,810	463	663	6,152	▲ 18	▲ 1,342
11月	780	1,790	13,207	544	847	8,327	943	4,880
12月	784	1,858	14,698	531	663	5,247	1,195	9,451
1月	353	650	5,101	282	309	2,117	341	2,984
2月	238	276	1,785	396	448	2,908	▲ 172	▲ 1,123
3月	414	628	5,111	627	715	4,174	▲ 87	937
下期	3,034	5,847	44,712	2,843	3,645	28,925	2,202	15,787

② 稼働状況

- 助成制度により、夫婦・グループ利用が増え1室当りの人数・単価を上げた
※下期においては昨年1, 3名/室が本年は1. 9名/室と向上した
- 客単価においては、助成のお得感を最大限に打ち出すため
(おひとり負担1,000円)料金を下げ販売したため、例年を下回った

表4) 稼働率ならびに客単価比較

	3年度	2年度	比較	比率(%)
販売室数(室)	5,288	4,137	1,151	127.8
利用人数(人)	8,774	5,499	3,275	159.6
売上(千円)	63,657	43,006	20,651	148.0
部屋稼働率(%)	40.2	31.5	8.8	127.8
人数稼働率(%)	18.1	11.3	6.7	159.6
客単価(円)	7,255	7,821	▲ 566	92.8
室単価(円)	12,038	10,395	1,643	115.8
1室当り利用人数(人)	1.66	1.33	0.33	124.83

③発地別状況

- コロナ感染拡大防止の観点から「くまもと再発見の旅」「山の都に泊まろう」キャンペーンが県内在住者に限られた期間が長いため、県内の利用者が増え約50%のシェアを占めた

表5) 宿泊利用客の発地別データ(年度別)

県名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	対前年	R3シェア
熊本県	3,960	3,510	3,152	1,962	4,363	2,401	49.7%
福岡県	3,040	2,899	2,353	1,418	2,035	617	23.2%
長崎県	406	286	262	85	261	176	3.0%
佐賀県	223	180	185	59	40	-19	0.5%
大分県	252	206	292	108	103	-5	1.2%
宮崎県	499	277	387	449	184	-265	2.1%
鹿児島県	423	311	479	98	130	32	1.5%
沖縄県	27	13	46	2	18	16	0.2%
山口県	118	93	113	30	30	0	0.3%
広島県	144	141	175	97	92	-5	1.0%
岡山県	48	41	60	43	37	-6	0.4%
山陰地方合計	6	20	19	5	1	-4	0.0%
四国地方合計	79	96	107	28	22	-6	0.3%
兵庫県	239	371	273	89	171	82	1.9%
大阪府	657	351	497	144	209	65	2.4%
その他関西	164	204	162	72	93	21	1.1%
愛知県	286	205	505	146	153	7	1.7%
その他中部東海	115	177	137	24	75	51	0.9%
東京都	496	631	828	216	262	46	3.0%
神奈川県	185	236	292	198	115	-83	1.3%
その他関東甲信越	274	298	349	142	283	141	3.2%
北陸	55	12	88	9	24	15	0.3%
東北北海道	87	82	109	75	61	-14	0.7%
韓国	3,147	3,087	173	0	0	0	0.0%
台湾・中国・東南アジア	42	34	128	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	12	12	0.1%
合計	14,972	13,761	11,171	5,499	8,774	3,275	100.0%
九州合計	8,830	7,682	7,156	4,181	7,134	2,953	
対全国比率(%)	59.0	55.8	64.1	76.0	81.3	90.2	
熊本福岡	7,000	6,409	5,505	3,380	6,398	3,018	
対全国比率(%)	46.8	46.6	49.3	61.5	72.9	92.2	

④予約媒体分析

- 宿泊助成の効果があり、地元(熊本県内・山都町内)の方のご利用が増え電話予約数が増えた。
- 県・町の助成制度に旅行会社(阪急交通社)とのタイアップによる宿泊者が伸びたためその他の予約の増となった。(阪急 1105名)

表6) 単位:人

媒体名	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
電話・FAX	11,058	9,563	7,908	6,569	3,332	4,146
フロント	374	204	182	296	517	617
インターネット経由	4,507	5,645	5,957	3,576	1,864	1,700
その他(不明含む)	129	264	486	1,956	769	2,311
合計	16,068	15,676	14,533	12,397	6,482	8,774
ネット占有率(%)	28.0	36.0	41.0	28.8	28.8	19.4

(2) 宴会部門

- コロナ禍の中、宴会等に対する形態が変化した。
法事などの1件当たりの人数の減少、宴会を行わず弁当などのテイクアウトへ変化。
- 一般企業・団体など感染拡大防止の観点から、宴会自粛が継続されている。

① 月別状況

表7) 月別実績比較(単位) 件数/件・人数/人・金額/千円

	令和3年度			令和2年度			比較(人数・金額)	
	件数	人数	金額	件数	人数	金額	人数	金額
合計	155	2,324	13,476	97	1,859	7,344	465	6,132
4月	14	244	1,344	0	2	8	242	1,336
5月	7	110	572	0	0	0	110	572
6月	9	169	754	0	0	0	169	754
7月	13	148	1,075	18	601	1,668	▲ 453	▲ 593
8月	4	62	344	7	186	383	▲ 124	▲ 39
9月	8	101	400	11	162	771	▲ 61	▲ 371
上期	55	834	4,489	36	951	2,830	▲ 117	1,659
10月	16	218	920	11	184	1,035	34	▲ 115
11月	28	329	2,846	14	243	1,077	86	1,769
12月	29	640	3,233	11	200	833	440	2,400
1月	17	156	1,106	5	57	414	99	692
2月	1	2	10	1	10	184	▲ 8	▲ 174
3月	9	145	872	19	214	971	▲ 69	▲ 99
下期	100	1,490	8,987	61	908	4,514	582	4,473

表8) 比較

	3年度	2年度	比較	比率(%)
件数(件)	155	97	58	159.8
人数(人)	2,324	1,859	465	125.0
売上(千円)	13,476	7,344	6,132	183.5
1件当り人数(人)	15.0	19.2	▲ 4.2	78.2
1件当り売上(円)	86,942	75,711	11,231	114.8
1名当り売上(円)	5,799	3,951	1,848	146.8

表9) セグメント分析

単位) 人数/人・件数/件・金額/千円

セグメント	令和3年度			令和2年度			比較		
	件数	人数	売上	件数	人数	売上	件数	人数	売上
法事	36	426	2,456	19	297	1,887	17	129	569
祝い	10	120	825	14	137	759	▲ 4	▲ 17	66
団体昼食(一般)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体昼食(エージェント)	3	65	159	5	74	227	▲ 2	▲ 9	▲ 68
同窓会	3	37	364	1	21	68	2	16	296
老人会(町内)	2	38	159	6	95	384	▲ 4	▲ 57	▲ 225
老人会(町外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
JA関係	3	91	438	5	63	350	▲ 2	28	88
役場(町内・町外)	7	83	562	11	173	732	▲ 4	▲ 90	▲ 170
一般企業(消防、警察含む)	4	41	248	7	84	676	▲ 3	▲ 43	▲ 428
一般団体	14	662	4,499	1	18	42	13	644	4457
趣味の会	1	10	59	4	64	201	▲ 3	▲ 54	▲ 142
地域団体(町内会、区長会など)	9	206	1,125	4	64	151	5	142	974
学校、病院、介護施設	5	221	734	12	186	528	▲ 7	35	206
その他	30	324	1,848	22	583	901	8	▲ 259	947
合計	127	2,324	13,476	111	1,859	6,906	16	465	6570

(3) レストラン部門

- 県の時短要請に応じ、時間短縮または休業を行った為、実質的な営業期間が短かった。
- 感染症対策を講じながら、ランチバイキング・カレーバイキング・セレクトバイキング（メイン料理をチョイスし副菜をバイキング形式で提供）・外部店舗（狐狸庵）の導入などを試みたが、誘客・売上増には繋がらなかった。

表10)実績比較(宿泊客除く)

	3年度	2年度	比較	比率(%)
利用人数(人)	8,096	9,118	▲ 1,022	88.8
売上(千円)	9,693	12,160	▲ 2,467	79.7
料理売上(千円)	7,228	9,425	▲ 2,197	76.7
飲料売上(千円)	2,465	2,656	▲ 191	92.8
その他売上(千円)	0	79	▲ 79	0.0
客単価(円)	1,197	1,334	▲ 136	89.8

(4) 売店(ロビー売店・自販機(2階、3階))部門

- 全体での集客ができていないのが主な要因ではあるが、季節商品の選定などスポット商品売場作り、さらにセットでの販売を推進していく。
- お子さま向けの「駄菓子コーナー」の設置をしての売上増をはかったが、利用人数は増えたが単価を下げる結果となった
- Gotoトラベル時のクーポン券は宿泊の翌日までの利用可であったが、くまもと再発見の旅のクーポンは利用期間が長く、館内での購買意欲までには至らなかった。

表11)

	3年度	2年度	比較	比率(%)
利用人数(人)	6,524	5,286	1,238	123.4
売店売上(千円)	4,348	5,225	▲ 877	83.2
客単価(円)	666	988	▲ 322	67.4
自販機売上(千円)	1,023	618	405	165.5

(5) 大休憩室・温泉館

- 大休憩室は、人員の削減・売上とコストのバランスにより料理・飲料等の提供を休止。今後、展示会・発表会などの利用促進を図り地元密着型のスペースとして活用したい。
- 温泉館は、利用人数は外出や移動の自粛はあるものの、Withコロナへと世の中が移行し利用人数は回復傾向にあると思われる。
- 売上は、コロナ禍による売上減を補うために、町民重視の回数券の特売期間を長くし売上増を図った。パス券の廃止の影響もあり売上を上げることが出来た。
- 灯油の高騰により、経費が高くなり、収益性の悪い部門のひとつとなっている。

表12)

	3年度	2年度	比較	比率(%)
温泉館利用人数	40,343	33,094	7,249	121.9
温泉館売上(千円)	21,558	14,030	7,528	153.7
客単価(円)	534	424	110	126.0

決算報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

有限会社 虹の通潤館

熊本県上益城郡山都町長原1.9.2番地1

貸借対照表

令和 4 年 3 月 31 日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
	円		円
【流動資産】	【 8,259,592】	【流動負債】	【 25,768,613】
現金及び預金	3,532,634	買掛金	1,725,800
売掛金	2,687,259	未払金	15,402,142
商品	296,500	前受金	222,110
原材料	1,055,066	預り金	3,180,549
前払費用	195,360	仮受金	438,912
立替金	35,330	未払法人税等	71,000
仮払金	96,707	未払消費税等	4,702,100
未収金	360,736	前受金(券)	26,000
【固定資産】	【 2,271,109】	【固定負債】	【 51,944,844】
(有形固定資産)	(1,500,017)	長期借入金	51,944,844
建物	1		
附属設備	1	負債の部合計	77,713,457
車輛運搬具	1		
工具器具備品	14	純資産の部	
絵画	1,500,000	【株主資本】	【 Δ67,182,756】
(無形固定資産)	(764,267)	(資本金)	(5,000,000)
電話加入権	105,000	資本金	5,000,000
ソフトウェア	659,267	(利益剰余金)	(Δ72,182,756)
(投資その他の資産)	(6,825)	利益準備金	875,000
差入保証金	6,825	別途積立	3,000,000
		繰越利益剰余金	Δ76,057,756
		純資産の部合計	Δ67,182,756
資産の部合計	10,530,701	負債及び純資産の部合計	10,530,701

損 益 計 算 書

科 目	金 額	
		円
【純 売 上 高】		
売 上 高	114,202,061	114,202,061
【売 上 原 価】		
期 首 棚 卸 高	1,294,398	
商 品 仕 入 高	24,065,767	
合 計	(25,360,165)	
期 末 棚 卸 高	1,351,566	24,008,599
売上総利益		(90,193,462)
【販売費及び一般管理費】		
広 告 宣 伝 費	24,308	
販 売 手 数 料	4,787,717	
荷 造 運 賃 送 費	5,702	
販 売 促 進 費	248,273	
販 売 促 進 費 II	252,390	
給 料 手 当	41,664,224	
雑 給	12,750,262	
法 定 福 利 費	6,364,610	
福 利 厚 生 費	1,043,414	
福 減 価 償 却 費	22,733	
賃 借 料 費	3,475,655	
修 繕 費	1,143,421	
事 務 用 品 費	1,049,942	
消 耗 品 費	460	
水 道 光 熱 費	14,538,238	
旅 費 交 通 費	73,200	
支 払 手 数 料	1,745,030	
租 税 公 課	783,237	
交 際 接 待 費	92,441	
保 険 料	280,660	
通 信 料	487,614	
車 輛 費	162,835	
出 向 料	2,236,368	
外 注 費	3,938,737	
客 用 消 耗 品 費	2,276,941	
地 代 家 賃	588,000	
燃 料 費	21,657,167	
雑 費	58,604	
厨 房 消 耗 品 費	836,554	
人 材 派 遣 費	3,179,360	
保 守 料	2,864,900	
装 備 生 産 費	5,361,513	

科 目		金 額	
園 芸 費		121,585	134,643,525
負 担 金		370,910	
備 品 補 充 費		150,820	
調 査 研 究 費		5,700	
	營 業 損 失		
【營業外收益】			(44,450,063)
受 取 利 息		93	43,509,018
雜 收 入		43,508,925	
【營業外費用】			
支 払 利 息		746,174	757,553
雜 損 失		11,379	
	經 常 損 失		(1,698,598)
	稅引前当期純損失		(1,698,598)
	法人稅、住民稅及事業稅		71,000
	当 期 純 損 失		(1,769,598)

株主資本等変動計算書

自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日 単位 円

	株主資本						純資産合計
	資本金	利益剰余金				株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
			別途積立 1	繰越利益剰余金			
当期首残高	5,000,000	875,000	3,000,000	△74,288,158	△70,413,158	△65,413,158	△65,413,158
当期変動額							
当期純損益金				△1,769,598	△1,769,598	△1,769,598	△1,769,598
当期変動額合計				△1,769,598	△1,769,598	△1,769,598	△1,769,598
当期末残高	5,000,000	875,000	3,000,000	△76,057,756	△72,182,756	△67,182,756	△67,182,756

監査報告書

有限会社 虹の通潤館
代表取締役 梅田 穰 殿

第26期事業年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日迄)の
事業報告、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、及び帳簿・
関係証憑等を監査した結果、適法に処理、記載されていると認める。

以上

令和4年5月20日

有限会社 虹の通潤館
監査役 児玉豊和

